

<< 変化を楽しもう >>

# 居心地の良さが大きな魅力 個性全開の6年間を

日本の中学・高校は男子校・女子校・共学校という3つのカテゴリーに分けられる。少子化などを背景に、男子校と女子校の共学化がニュースになるケースも増えているが、一方で創立以来の歴史と伝統を守り続ける学校も少なくない。中高6年間を男子だけ、あるいは女子だけで学ぶことにはどんな意義があるのだろうか。1881（明治14）年に東京・神田で創立され、現在は千代田区九段で中高6年間の女子一貫教育を展開する白百合学園中学高等学校の青木タマキ校長に話を聞いた。



幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

幼稚園から高校までの白百合生が着用する、百合の紋章が入った制服。1926年に制定されてから今年でちょうど100年

## 女子校の現在地とは？

白百合学園中学高等学校  
校長 青木 タマキ 氏



あおき・たまき 福岡県出身。白百合学園の設立母体である「シャルトル聖パウロ修道女会」会員。姉妹校での英語教師と教頭を経て、姉妹校3校で校長を務めた後、2022年4月より現職。校長職は25年目。

統があります。校訓や校歌、セーラー服の制服、「ごきげんよう」というあいさつなど、「白百合らしさ」が今も脈々と息づいています。

3つ目は自立心とリーダーシップが育まれることです。本校には男子がいらないため、生徒会、委員会、クラブ活動、学校行事など、あらゆる局面でさまざまな役割を分担しつつ、自分の能力や個性を発揮しています。共学校なら女子はノータッチになるであろう力仕事もこなします。その代表的な事例は学園祭ですね。今年は53名の部署に分かれて運営し、成功に導きました。さらに、自立した女性に必要なマナーやエチケットを身に付けてもらうため、『これだけは身に付けたい』白百合生のエチケット集』を配布し、実践することを呼びかけています。

学で大切にしています。そこで大切になるのが、校訓の実践です。それを徹底した結果、「校訓の精神が私の人生の基盤になっている」と明かしてくれる同窓生はかなりの数に上ります。

必ずできる居場所

まず「従順」ですが、これは人の言うことに逆らわず、素直に従うという意味ではありません。良心を通して示される正しさ、すなわち「真理」に自分の意思を従わせることです。「勤勉」は文字通り、一生懸命に精を出して励むこと。そして、「愛徳」は辞書にない言葉で、神との関係による無償の「愛」を意味します。すべての「徳」の基礎とされま

本校では、これら3つの校訓を毎年1つずつ取り上げ、年間の重点的な努力目標としています。2026年度は「勤勉」、27年度は「愛徳」、28年度は「従順」といったように、中高の6年間で2回ずつ努力目標として実践することになっています。本校を卒業後、この校訓が人生の基盤となるのは当然かもしれません。白百合を支える太い幹として、今後も大切に守り伝えていきます。

カリキュラムに独自性

——宗教とフランス語を必修科目にしていますね。

本校は修道女によって創立されました。宗教教育は本校の根幹を成すカリキュラムです。神と人に対して誠実に生き、神との関係（The Sacred Other）における自分を確立する。他者のために生きる精神（Man for Others）を身に付ける。

宗教とフランス語を必修科目にしていますね。

それらの方法を学んだうえで、貴重な自分の命をどう生かすかといった問いに対する、自分なりの答えを見つけようとするのが、宗教教育の大きな狙いの一つです。

中1から高3までの全学年で、聖書を通じて自分の心に向き合う宗教の授業を週1時間設けています。ただ、信仰は自由ですから、強要することはありません。

フランス語の授業があることも創立以来の伝統です。中学校ではフランス語と英語が必修で、高校ではそのどちらかを第一外国語として学ぶことになっています。世界に向けて開かれた外国語という窓が2つあるわけで、それは生徒の将来の選択肢が2倍に広がることも意味します。新たな言語に親しむ喜びをぜひ感じてほしいですね。

必ずできる居場所

——小学校を併設する学校に中学校から入学する場合、内部進学生とうまく交流できるかどうかを心配する児童・保護者がいると思います。その点についてどのように対処しているのでしょうか。

本校では幼稚園、小学校、中学校の段階でそれぞれ約60人ずつ入学します。中学校では小学校から上がってくる児童が3分の2を占めるわけです。中学校から入学する児童が不安を感じるのは当然かもしれません。

しかし、ご心配には及びません。子どもたちは親御さんの想像以上に柔軟に対応し、例年すぐになじんでいくからです。本校としてもそのため

のサポートを惜しみません。たとえば、本校ではどの学年も4クラスで構成しています。一般入試入学者、帰国生入試入学者、内進生の人数をそれぞれほぼ均等に4分割して割り振っています。入学直後のオリエンテーションでは、仲間づくりワークショップも実施。学校行事やクラブ活動、クラスの生活班（掃除や週番なども含め）、さまざまな局面で友だちができるように工夫しています。さらに、クラス替えは毎年。こうしたことが相乗効果を発揮し、どの生徒にも必ず居場所ができるようにしているのです。

——最後に、読者にメッセージを。

本校に限らず、女子校には自分自身の能力を存分に発揮し、挑戦できる環境が整っています。思春期の貴重な6年間で、異性の目を気にせず、個性全開で過ごしたいなら、ぜひ女子校をじっくり検討ください。本校でもお姉さんたちが笑顔いっぱいいて皆さんの入学をお待ちしています。

広告